

気管挿管用口腔内装置(マウスピース)について

気管挿管用口腔内装置(マウスピース)について

- ・ 全身麻酔での手術の際の歯牙損傷を防止するための口腔内装置です。
- ・ 装着していても、歯の状態によっては損傷することがあります。
- ・ 当院 歯科口腔外科またはかかりつけ歯科等で作製します。
- ・ 装置をなくしたり、忘れてきた時の再作製にかかる費用はすべて自費になります。
- ・ 半年間は保管をおすすめしています。
- ・ 装置を使用する患者と、使用しない患者がいます。入院時に患者に確認が必要です。

気管挿管用口腔内装置(マウスピース)の使用について

- ・ 使用方法は作製した歯科において説明・指導を受けます。
- ・ 入院時に患者が持参します。全身麻酔を受ける患者には、必ず確認して下さい。
- ・ 手術当日、患者自身で装着します。自分でできない患者がいたら
マウスピース No. 3 取り扱い「気管挿管用口腔内装置(マウスピース)付け方」参照。
- ・ 手術後は患者自身で外してもらいます。自分でできない患者がいたら
マウスピース No. 3 取り扱い「気管挿管用口腔内装置(マウスピース)外し方」参照。
- ・ 高温で変形するため、お湯に浸けたり洗ったりしないで下さい。
- ・ 保管は常温・乾燥で良いです。清潔にしておいて下さい。
マウスピース No. 3 取り扱い「気管挿管用口腔内装置(マウスピース)保管方法」参照。



ご不明な点がございましたら、歯科口腔外科までお問い合わせ下さい。

浜松医療センター 歯科口腔外科